ろくおん
通信

２０２２年２月１日発行

発　行　日本ライトハウス情報文化センター
録音製作係
発行責任者　竹下　亘
電　話　06-6441-1017
ＦＡＸ　06-6441-1027
http://www.iccb.jp/

No.249

今号の内容

◎聴いてわかる録音図書をつくるために（第６２回）……１ページ
製作マニュアルを見返してみる
◎「サピエ図書館」の検索機能を使ってみよう！ ……２ページ
◎わかる 使える 広がる！ デイジー図書徹底解説（第３５回）……４ページ
最終校正（デイジー校正）のポイント：カッコ類が使われている図書
◎ご存知ですか 「シネマ・デイジー」……７ページ

聴いてわかる録音図書をつくるために（第62回）

製作マニュアルを見返してみる

録音製作係　木田陽子

皆さん、音訳や校正をする時、デイジー編集の作業をする時にマニュアルをご覧になっていますか。音訳時の処理は、全国視覚障害者情報提供施設協会の「音訳マニュアル」シリーズなどを参考にするのが基本となりますが、当館ではそれに加えて「デイジー図書録音の順序」・「デイジー図書　編集のルール」というマニュアルを作成しています（施設・団体によって別の方法をとる場合もありますが、以下、当館でのやり方を例に説明します）。

マニュアルには、こうすれば利用者にわかりやすく伝えられる、音訳者も校正者も迷わずに作業できる、という事例がまとめられています。

たとえば「録音の順序」の最後のページに「図・表・写真の読み方の順序」が掲載されています（「ろくおん通信」No.２２４（２０１７年１０月）もあわせてご覧ください）。これを１つずつ見ていけば、図・表・写真など（以下「図表」）の読み方の形式がわかります。次ページの画像（「ろくおん通信」No.２４７の７ページ）を例にとって、読み方をみていきましょう。〔　〕内の数字は「録音の順序」の番号と対応させてあり、実際に録音する文章に下線を引いています。

（１）　図表のあるページと、その種類を読みます。複数まとめて読む時は、ここで枚

数も入れます〔①〕。「７ページ　写真２枚。」

（２）　図表のタイトル〔②〕、出典〔③〕、著者の書いた説明文（キャプション）〔④〕など、原本に書かれていることを読みます。今回、図表にタイトルはありませんが、計２枚を説明しますので、まず「写真１。」と言います。

出典や著者による説明文は掲載されていませんので、次の項目に進みます。

★ スタジオの「変換プラグ」返却のお願い

スタジオ録音再開時より、モニターの際には個人個人でヘッドセットを使用していただいています。ヘッドセットの緑の端子（ミニプラグ）をスタジオ備え付けのオーディオキャプチャーにある挿入口（標準ジャック）に接続するため、間に「ミニジャック→標準プラグ」変換プラグという部品を挿んでいます。変換プラグは各スタジオに１つずつ、キャプチャーに備え付けています。

ヘッドセットを外す際に一緒に抜けてしまうことがありますが、変換プラグはキャプチャーのヘッドホンのマークがある挿入口に戻していただきますようお願いいたします。スタジオのキャプチャーから外した変換プラグがお手元にある場合は、係までご返却ください。

7

（３）　「説明。」と言います〔⑤〕。この後は音訳者が自身の言葉で説明しますよ、というサインになります。

（４）　音訳者が作成した１枚目の写真の説明を読みます（説明は「ですます調」で作文します)。続けて「写真２。説明。」と言い、２枚目の写真を説明します。

（５）　音訳者が作った写真の説明の中に、著者の説明文を読み込んだ方がわかりやすい場合は、「図に添えられた説明文を読みます。」などと断ってから読みます。

（６）　全ての写真の説明が終わったら、「写真おわり。」と読むことで、写真の説明から本文に戻りますよ、と知らせます〔⑥〕。

この読み方をすることで、「７ページ　写真２枚」から「写真おわり」までの音声がひと組の大きなカッコ、「写真１」から「写真２」までと、「写真２」から「写真おわり」までが小さな２つのカッコでくくられたような形になり、本文と写真の説明の境目、また個々の写真の説明の境目がわかりやすくなります。

なお、出典や著者の説明文について、特に「出典。…出典終わり。」でくくる、とは決めていません。原本の記載事項と音訳者の説明との間を「説明。」という文言で分けますので、原本の表記通りに「出典：〇〇」、「〇〇白書より」と読めば問題ないと思います。

マニュアルのほかにも、講習会で使用した資料なども見返してみると、もしかしたら今迷っていることのヒントが見つかるかもしれません。最近見ていないなあ、ということであれば、お手元の資料をちょっとめくってみませんか。

「サピエ図書館」の検索機能を使ってみよう！

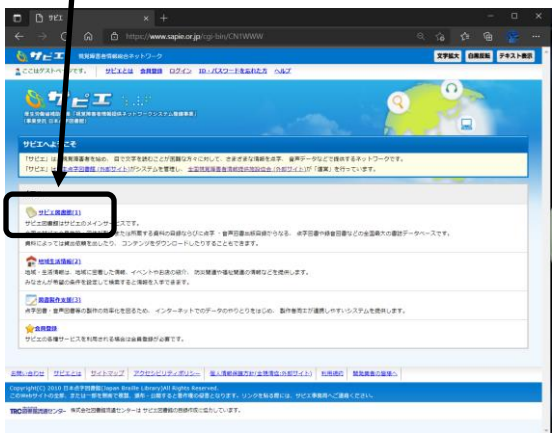
当館では製作担当職員・貸出担当職員による「選書委員会」が、図書館利用者・ボラン

ティア・職員から推薦された図書を持ち寄り、どの本を点訳・音訳するか決めています。点字・録音図書の製作を始めることを「着手」と呼んでいますが、「ほかの施設・団体が未着手であること」を製作条件の１つとしているため、月１回の「選書会議」の前には職員が「サピエ図書館」を使い、推薦された図書が未着手かどうかの確認作業をします。

完成した点字図書・録音図書データの閲覧は登録利用者（「視覚障害者等」に該当する方）にしかできませんが、どんな図書が製作されているのかを調べるだけなら誰でも使うことができます。製作したい図書が着手されているかどうか、推薦前に確認してみましょう。

検索する際の語句の入力方法については、「サピエ図書館」だけでなく、国会図書館や公共図書館の蔵書検索を使って参考文献の読みを下調べする時にも利用できるかと思いますので、ぜひご活用ください。（以下、「クリック」と書かれた箇所は「マウスの左ボタンを１回押す」という意味です。）

①　「サピエ」（https://www.sapie.or.jp/）にアクセスし、「サピエ図書館（１）」をクリック。



②　「５．詳細検索」をクリック。

③　「タイトル」や「著者」欄に調べたい図書の情報を入力（次ページの図参照）。

検索する際にいろいろと条件をつければ候補を絞り込むことができますが、比較的簡単に試せる入力方法としては、以下のようなものが挙げられます。

・読みがわかっている場合は、読みをひらがなで入力する。

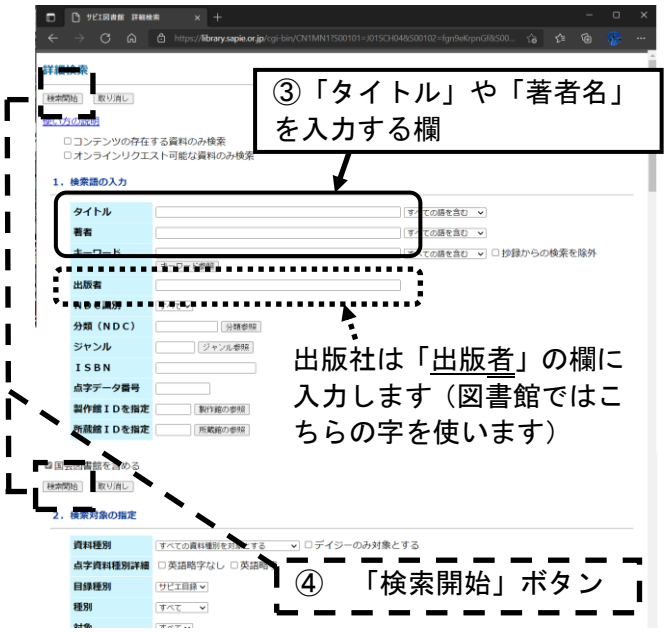
・タイトルの表記がはっきりわからない場合は、覚えている単語を漢字仮名交じりで入力する。ただし数字の部分は避けた方が良い（算用数字で「１００」と入力してしまうと、「一〇〇」は見つかるが「百」は出ない、などの制約があるため）。

・全く同じタイトルや、似たようなタイトルの図書が複数ある場合は、副タイトルで調べてみる。

④　「検索開始」ボタンをクリック（上下どちらでもＯＫ）。

⑤　「検索結果一覧」が表示されます。「該当データが見つかりませんでした。」と表示されている場合、あるいは一覧表の「資料種別」欄に「音声デイジー」と書かれているものがない場合は、選書会議に推薦可能です。

反対に「資料種別」欄が「音声デイジー」となっているものがあれば、すでに着手されているので製作できません。（※「テキストデイジー」は別物なので、音声デイジーでの着手は可能）



「該当データが見つかりませんでした。」の表示が出た場合、その図書は未着手です。
→　選書会議に推薦可能です。

「資料種別」欄に「音声デイジー」の表示がある場合、音声デイジー版は既に着手されています。
→　当館では製作はしないことにしています（選書会議への推薦も不可）。

わかる　使える　広がる！
デイジー図書徹底解説（第３５回）

このコーナーでは、図書の特徴に合ったデイジー校正のポイントを紹介しています。校正者にとって、「カッコなどさまざまな記号・符号」が多用されている図書は、判断に迷うものの代表ではないでしょうか。今回はその中の「カッコ・カギカッコ類が多く使われている図書」をみていきます。音訳者・編集者の方もぜひご一読ください。またブラッシュアップコーナーでも、関連した質問を取り上げています。合わせてご一読ください。

カッコ・カギカッコ類とは？

「カッコ類」には、カッコ（丸カッコ）、カギカッコ、二重カギカッコ、亀甲カッコ、角カッコ、山カッコなどがあり、また、ダブルクォーテーションやダッシュ記号で囲んで表示されたものなども含まれます。会話文や引用文を表すものの他に、前の語句の補足や強調をしているもの、単にルビを表しているだけのものや、筆者や登場人物の心の声といったものまで、使われ方や意味合いも多種多様です。

それぞれに合った読み方が求められますが、（　）を例に、当館の読み方を紹介します。いずれも、（　）があることを伝えるのではなく、（　）を使って書かれた文章が正しく伝わるかどうかがポイントです。

参考)

カッコ（丸カッコ）（　）　カギカッコ　「　」　二重カギカッコ　『　』

亀甲カッコ　〔　〕　角カッコ　［　］　山カッコ　〈　〉

ダブルクォーテーション“　”　ダッシュ　――

（　）の読み方、主な方法と校正のポイント

●基本的な読み方

1. カッコをはずして読む　……　はずして読んでも意味が伝わる場合

【ポイント】・並列（複数の言葉が並んでいる）に聞こえないか。

・文意が伝わるか。

2. カッコ ○○ トジ（または、カッコ ○○ カッコトジ）と読む

【ポイント】・「カッコ…トジ」ばかりが耳について、中身が伝わりにくくなっていないか。

3. 上記 1. または 2. の方法で読み、そのあとカッコの前の言葉に戻る

① カッコ内が長く、前の語がカッコの後の文に繋がりにくい場合

② カッコ前後の語が本来一つながりであるような場合

【ポイント】・同じ言葉を繰り返すことで、複雑でわかりにくくなっていないか。

・カッコ内が短い語句の場合は、戻らない方が伝わりやすいこともあります。

●1. ～3. の方法では文意を正しく伝えられないケース

4. カッコ内を読まない　……　カッコ内が前の漢字のルビとして書かれているものなど

例　「梶井基次郎の『檸檬』（レモン）の一部をご紹介します。」

読み方：「梶井基次郎の れもん の一部をご紹介します」

5. 一つの言葉として読む　……　カッコ内の言葉が外の言葉にかかる場合

例１　「小錦があやうく廃業してしまうのではないかと思われていたあの運命的な夏（五月）場所八日目の対北尾戦である。」

読み方：「～～あの運命的な夏場所　カッコ五月場所トジ　八日目の～～」

例２　「そこから大和の国（今の奈良県）、さらに日本全体が「あきづ（つ）しま」と呼ばれました。」

読み方：「そこから大和の国　今の奈良県　さらに日本全体が　あきづしま　カッコ　あきつしま　トジ　と呼ばれました。」

●数式の場合　……　「カッコ　○○○　カッコトジ」と読みます

例　「２×（３＋４）＋５＝１９」

読み方：「２×　カッコ３＋４カッコトジ　＋５　＝　１９」

●タイトルや箇条書きなどについている場合　……　「トジ」は読まない

例１　「（１）　よいこのおんやく」

読み方：「カッコイチ　よいこのおんやく」

例２　「 １）　よいこのおんやく」

読み方：「カタカッコイチ　よいこのおんやく」

最終校正での校正のポイントは３つです

① カッコをはずしていることで、混乱させる読みになっていないか。

② 「カッコ…トジ」ばかりが耳について、文意が理解しにくくなっていないか。

③ 元に戻って読んだ場合に、伝わりにくくなっていないか。

更に、カッコの読み方は、間（ま）の取り方や緩急といった音訳者の読み方によっても、伝わり方が異なってきます。その点にも注意して聞くことが必要です。

編集者・デイジー校正者ブラッシュアップコーナー

Ｑ１．文末などにある（笑）・（泣）・（涙）・（汗）などはどう読んだらいいですか？

Ａ１．決まった読み方はありません。例えば（笑）は、「わらい」・「カッコわらい」・「カッコわらいトジ」などが考えられます。 場面に合った読み方を採用しましょう。

Ｑ２．「堺市（大阪府）」などの場合、「大阪府　堺市」と入れ替えて読んだ方がスッキリするように思いますが、語順を入れ替えるのはダメですか？

Ａ２．　原本に書かれている通りに読むのが原則です。また、「堺市（大阪府）」と「大阪府　堺市」とでは、伝わる意味合いも異なります。原本の内容を正しく伝えられる方法や読み方を工夫しましょう。

Ｑ３．「２０２２（令和４）年」などの場合、「２０２２年　令和４年」と読んでいいでしょうか？

Ａ３．「原文にない言葉を足してはいけない」とよく言われますが、２０２２に「年」を足して読む方法は、利用者にとって、「立ち止まらないで、不安なく聞くことができる」読み方といえます。目で読む場合でも、自然に目を動かし、「２０２２年」と心の中で読んでいるのではないでしょうか。

ご存知ですか　「シネマ・デイジー」

昨年１０月から、録音製作係音声解説事業担当として入職いたしました、宇田佑香と申します。映画を観ることがとにかく大好きです。録音製作係の一員として頑張っていきますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

当館では、音声解説ボランティアグループ「ボイスぷらす」の皆さんを中心に、「シネマ・デイジー」の製作を行っています。「シネマ・デイジー」とは、映画のサウンドに音声ガイドを付けて、レベル１でデイジー編集したものです。

「シネマ・デイジー」の魅力は、何と言っても、音声だけで（映像を見なくても）映画を楽しめるということです。また、デイジー図書と同じように専用の再生機が使えるほか、聞きたいところへ移動することができます。

ボランティアの皆さんには、台本制作やナレーション・編集を行っていただき、完成したものをサピエ図書館にアップしたり、ＣＤで貸し出したりして、利用者の方に届けています。

まだまだ皆さんに教えていただくことも多いですが、これからも、日々成長していきたいと思います。

館からのお知らせ

★　３月～４月に音訳が完了する方へ：２月１２日までに次の本の申込を！

３月に「サピエ」がメンテナンスのため停止いたします。その間、新しく音訳する図書の着手作業ができませんので、３月の選書委員会は行わず、２月１６日に２ヶ月分（２月・３月）の選書を行うことになりました。そのため、「３月末～４月初めに音訳を開始できる（希望する）方」は、２月１２日までに申し込んでください。

★　２年ぶりに初心者向け講習「音訳ボランティア養成講習会（１）」を開催

当センターでの音訳ボランティア活動を志す方を対象に、発声・発音・アクセントなどの基礎練習を中心とした講習会を開講します。音訳活動に興味をお持ちの方がお近くにいらっしゃいましたら、ご紹介いただければ幸いです。詳細は録音製作係（電話：06-6441-1017、メール：rec@iccb.jp）までお問い合わせください。募集要項は当館ホームページ（http://www.lighthouse.or.jp/iccb/）にも掲載しております。

日　　程：４月６日～８月２４日の水曜日（第３水曜・５月４日・８月１０日を除く、全１４回）　１３時～１４時５０分
募集人数：１２人程度
費　　用：７,０００円（講習初回に納めていただきます）
申込締切：２０２２年３月２日（水）必着
受講前テスト：事前に筆記試験・マイクテストを行います（３月１６日（水）・１７日（木）・１８日（金）、所要時間は半日程度）

★　２月１８日（金）午後の電話受付体制について

２月１８日午後は、館内で複数のイベントが行われます。６階職員が各所へ対応に行き、電話対応が手薄になりますので、当日１２時から１３時３０分まで６階の直通電話を“「近畿視情協ボランティア・職員研修会」に関するお問い合わせ優先”とさせていただきます。

この時間帯に受けた蔵書・雑誌の製作に関するお問い合わせについては、ご用件を承っておき、後から回答させていただきます。ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。

★　休室のお知らせ

２月１１日（金）：建国記念の日
２月２３日（水）：天皇誕生日
３月１０日（木）：ボランティア交流会開催のため休室
※　交流会の詳細は「One Book One Life」２月号をご覧ください